

あなたの企業の一員に

証  
報  
季  
保

# 京をつなぐ

四半期事業概況

月別事業概況

京のイチオシ企業

有限会社 修美社

金融機関紹介

京都中央信用金庫 今里支店

森の京都

京丹波町

お知らせ

京都再生ネットワーク会議開催

ものづくり現場研修

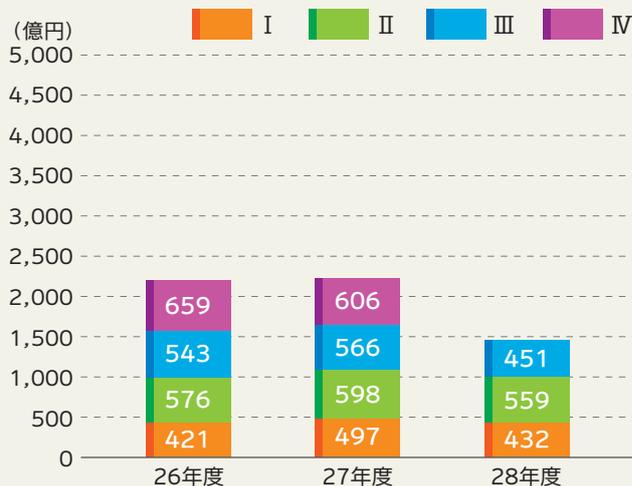
けいはんなインキュベートルーム交流会

# 平成28年度 事業概況

## 保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	2,337	43,206	83.1	86.9
II	2,843	55,963	89.8	93.6
III	2,289	45,108	74.2	79.7
IV				
年度累計	7,469	144,277	82.4	86.8

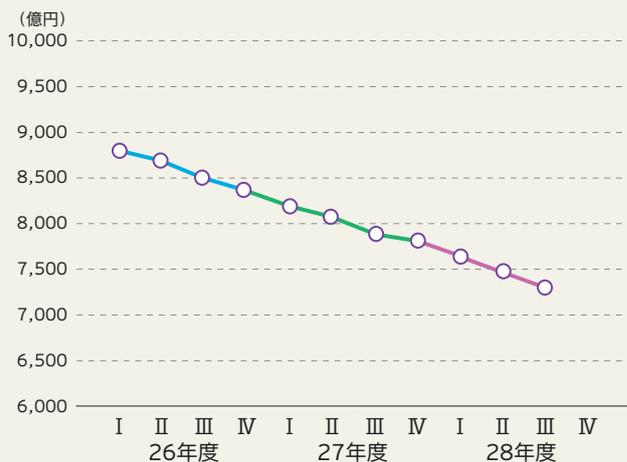


平成28年度第Ⅲ四半期の保証承諾は2,289件、451億8百万円となりました。  
前年度と比べ件数で74.2%、金額で79.7%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

## 債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	52,585	763,255	95.8	93.0
II	51,760	749,377	95.2	92.9
III	50,915	732,399	94.3	92.1
IV				

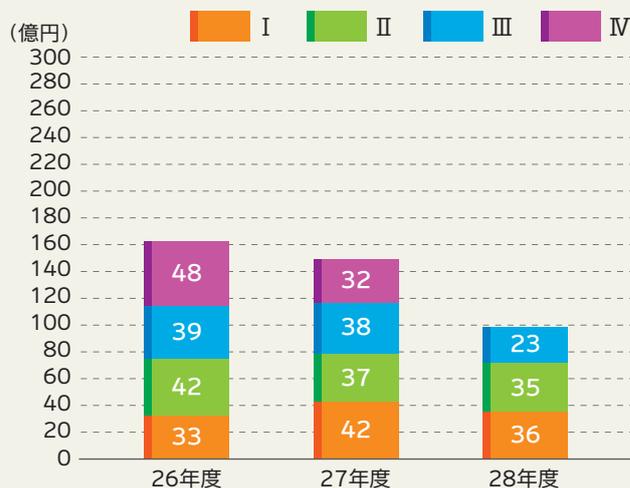


平成28年度第Ⅲ四半期の保証債務残高は50,915件、7,323億99百万円となりました。  
前年度と比べ件数で94.3%、金額で92.1%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

## 代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	225	3,663	102.7	86.9
II	254	3,502	117.6	94.8
III	145	2,380	63.0	62.7
IV				
年度累計	624	9,545	93.8	81.6



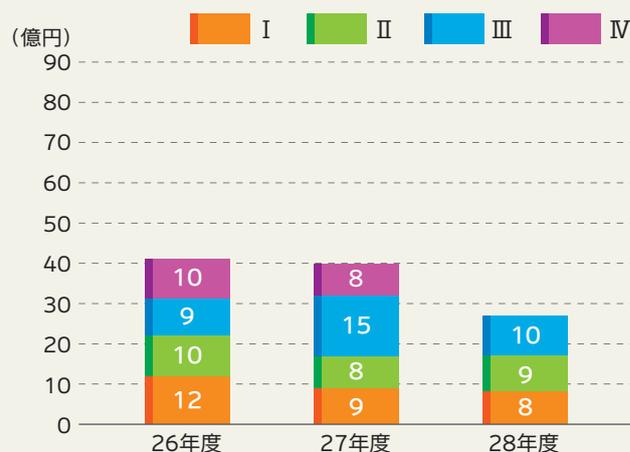
平成28年度第Ⅲ四半期の代位弁済は145件、23億80百万円となりました。  
前年度と比べ件数で63.0%、金額で62.7%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

## 求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	77	818	105.5	90.8
II	71	930	114.5	123.3
III	78	1,057	91.8	72.8
IV				
年度累計	226	2,805	102.7	90.3

※損害金回収を含む。件数は完済分。



平成28年度第Ⅲ四半期の求償権回収は78件、10億57百万円となりました。  
前年度と比べ件数で91.8%、金額で72.8%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

# 平成28年度 事業概況

## 保証承諾

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	680	11,850	77.8	78.1
5	720	13,119	88.1	94.0
6	937	18,237	83.6	88.5
7	839	16,084	83.1	85.1
8	935	17,971	99.9	101.3
9	1,069	21,908	87.7	94.6
小 計	5,180	99,169	86.7	90.5
10	628	11,799	78.6	87.2
11	735	14,526	78.1	82.9
12	926	18,784	68.8	73.5
1				
2				
3				
小 計	2,289	45,108		
累 計	7,469	144,277	82.4	86.8
事業計画	—	210,000	—	—
全国累計	499,993	6,405,987	95.4	96.0

※全国累計は速報値。

## 保証債務残高

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	53,376	780,142	96.3	93.5
5	52,915	769,687	95.9	93.2
6	52,585	763,255	95.8	93.0
7	52,265	758,385	95.6	93.0
8	52,003	753,665	95.4	93.0
9	51,760	749,377	95.2	92.9
上期平残	52,484	762,418	95.7	93.1
10	51,458	742,590	94.9	92.6
11	51,185	736,170	94.8	92.5
12	50,915	732,399	94.3	92.1
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	720,000	—	—
全国累計	2,664,164	24,338,789	93.6	92.8

※全国累計は速報値。

## 代位弁済

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	69	1,089	138.0	125.8
5	111	2,007	116.8	95.9
6	45	567	60.8	45.2
7	54	828	101.9	118.6
8	78	1,004	108.3	62.5
9	122	1,670	134.1	120.3
小 計	479	7,165	110.1	90.6
10	60	685	67.4	55.6
11	40	586	51.9	38.8
12	45	1,109	70.3	105.8
1				
2				
3				
小 計	145	2,380		
累 計	624	9,545	93.8	81.6
事業計画	—	20,000	—	—
全国累計	30,307	297,943	91.7	89.7

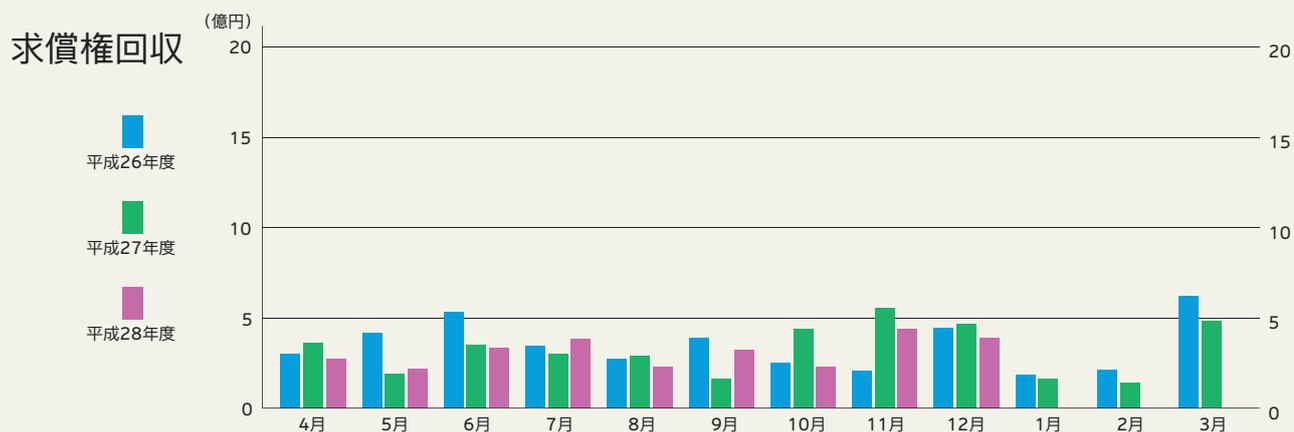
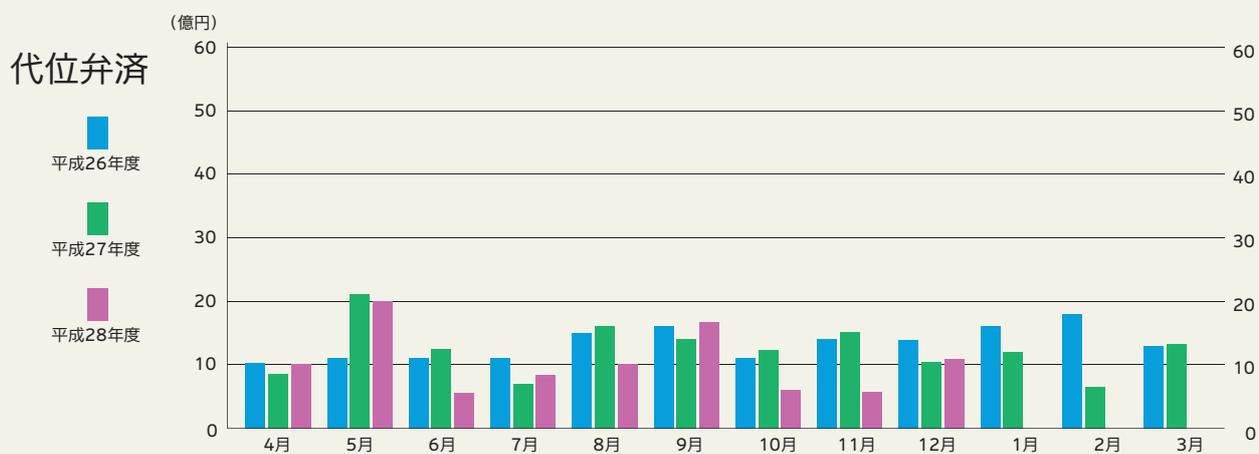
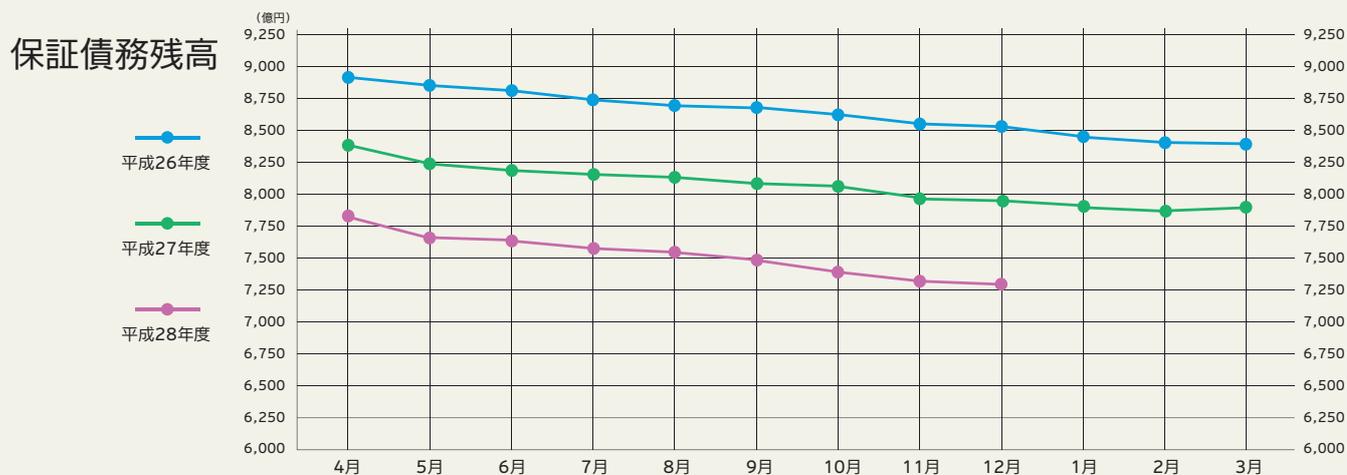
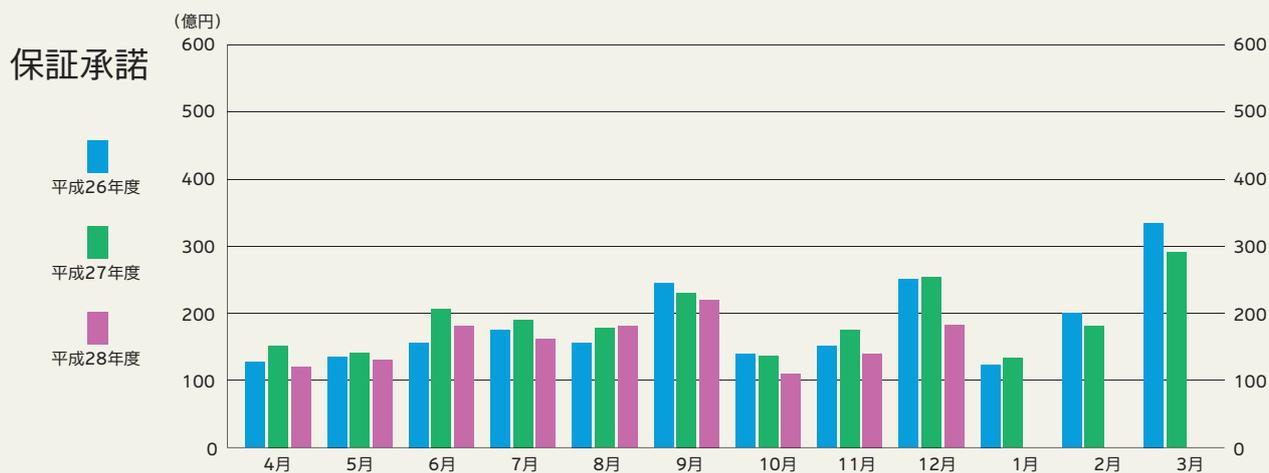
※全国累計は速報値。

## 求償権回収

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	22	278	66.7	77.0
5	22	211	146.7	109.6
6	33	329	132.0	94.9
7	39	381	229.4	124.7
8	13	229	43.3	78.8
9	19	321	126.7	201.7
小 計	148	1,748	109.6	105.6
10	22	214	122.2	49.9
11	29	447	126.1	80.1
12	27	397	61.4	85.2
1				
2				
3				
小 計	78	1,057		
累 計	226	2,805	102.7	90.3
事業計画	—	3,700	—	—
全国累計	—	99,175	—	97.1

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

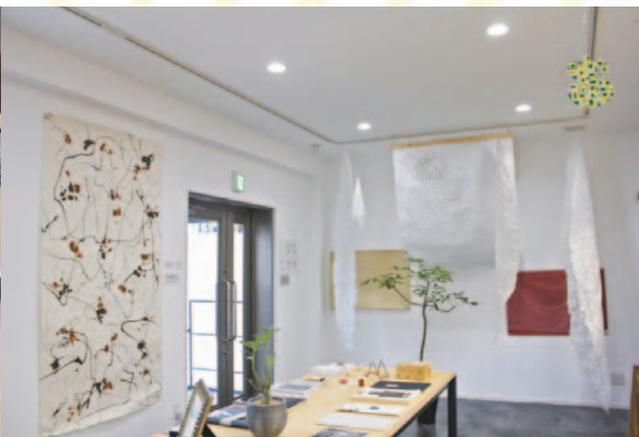


# 京のイチオシ企業

Best Recommended

京都市中京区の住宅街の中に本社・工場を構える有限会社修美社は、創業から56年に  
亘り地域に根差した印刷業を営んでいます。

代表取締役の山下 泰茂様と常務取締役の山下 昌毅様にお話を伺いました。



## 当社のあゆみと社員への思い

はじめに創業の経緯をお伺いしました。「昭和35年に父である会長が、有限会社修美社を起ち上げました。今でこそ様々な印刷物を取り扱っていますが、当初は父と母が3畳程の作業場で名刺や年賀状の印刷が中心でした。私は子どもながら家業を手伝っていたので、将来的には父の跡を受け事業を引継ごうと決めていました。“将来の私”という題目で小学校の文集にも印刷業をやりたいと書いていたほどです。」と当時を振り返られます。高校卒業後に事業継承を見据えて一旦同業他社に入社した社長でしたが、その後、事業を手伝うことになりました。子どもの頃から心構えはしていたものの、苦労の連続でした。今では社員という仲間とチーム一丸となって仕事ができ日々楽しくやっています。」と笑顔で話す社長からは、従業員の皆様に対する厚い信頼が感じられました。

## おもしろ印刷

同社は「おもしろ印刷」をコンセプトに掲げ、他社と一線を画すものづくりをしています。同社が提唱する「おもしろ印刷」とは、どのようなものを常務にお伺いしました。「おもしろ印刷とは、“印刷することは面白い”、また“面白いものをお客様と一緒に作る”という意味があります。印刷の面白さをもっと伝えていきたい。」と熱く語られます。同社が手掛けた印刷物の中でもデザインの特徴が出しやすい美術系の印刷物では、一風変わったアイデアが溢れ、遊び心がすぐられます。

同社ではお客様からの相談が入れば詳細なヒアリングを皮切りに、長年の業歴で培った様々なノウハウやアイデアを駆使してお客様と一緒に作りたいものを形にしていきます。「どこでも作れるものではなく、当社しか作れないこだわりの印刷をしたいという気持ちは常にあります。このような思いから、府内の同業者でも数社しか入れていないH-UVオフセット4色印刷機を新たに導入し、短納期かつ様々な印刷物にも対応できる態勢を整えています。」と語る常務からは、お客様の要望に全力で応える同社の姿勢が見られました。



photo by DAIJIROU OKADA



photo by DAIJIROU OKADA



# 修美社 株式会社 修美社

omohiro print  
syubisya

代表者／山下泰茂  
所在地／京都府京都市中京区西ノ京右馬寮町 2-7  
従業員数／12名  
事業内容／印刷業  
創業／昭和 35 年（1960 年）5 月  
設立／昭和 35 年（1960 年）5 月  
URL／<http://www.syubisya.co.jp>

代表取締役  
山下 泰茂様



常務取締役  
山下 昌毅様

会長  
山下 修吉様



photo by DAJIROU OKADA

## 地域とともに発展したい

同社は創業から今日まで創業地にこだわり、近隣の住民や店舗とともに発展してきました。しかし新しく購入したH-UV印刷機の導入に伴い、初めて“本社移転”の選択を迫られます。「新しい印刷機は大型で従来の工場に入らなかったため、初めて“本社移転”という言葉が出ました。いくつか移転候補地を見学しましたが、当社はこの地で周辺の人々に支えられながら事業を営んできたことを思い起こし、何とか従来の工場を建て替えることで対応できました。」と、胸の内を語られます。

同社は昨年11月に新工場を開設しました。新工場の1階ではH-UV印刷機が忙しく稼働する一方で、2階では新たにコミュニティスペースを設けています。「PRINTING Lab」と名付けられたスペースでは、ショールームのように国内外の色々なこだわりの印刷物が並ぶとともに談話や打ち合わせができるように大きなテーブルが設けられています。中小企業では珍しいコミュニティスペースを設置された経緯を伺いました。「紙の種類や色合いは様々なものがある中で、紙見本・色見本を見せるのは関係業者だけといった場合が多く、一般の方が目にすることはほとんどありません。新しく事務所を建てるのであれば、一般の方でも気軽に出入りできるようなスペースを地域に作りたと思っていました。」その言葉から地域の人々とともに発展したいという同社の姿勢を強く感じました。



## 保証協会へメッセージ

保証協会を利用するメリットを知らない中小企業者が多いと思います。企業訪問や広報などでもっと多くの企業に保証協会を知っていただければと思います。

## 紙出の利用で紙の可能性が広がる

同社は、印刷物を作るときに切り取られたものや半端な枚数で売れなくなった紙等、印刷の過程で不必要になった紙である“紙出”の活用を呼びかける取組みを行っています。その経緯を詳しく伺いました。「印刷業においては毎日出るものです、けっして品質が劣るわけでもないのにリサイクルされるのが現状です。紙は日常に溢れています、もっと原材料を大切にするという意識を共有していきたいとの思いで取組みをスタートさせました。」

「Noteb」と名付けられたこの活動には、同社以外にも賛同する企業やデザイナーなどの有志が参加しており、インターネットやSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した情報発信や紙出を活用した出版物の制作を行っています。「余った紙で再生紙が作られていますが、品質の低下に加えコストがかかります。紙出の中には高品質のものも多く、紙出を活用するという発想が広まれば、紙の可能性がもっと広がると考えています。」



photo by montanha



photo by montanha

## 京都中央信用金庫

### 今里支店

長岡京市今里四丁目 16 番 1 号

#### ・・・支店の沿革・・・

- 昭和57年6月 京都中央信用金庫今里支店として今里4丁目27番地の2に開設
- 昭和57年7月 地番改正により現住居表示に変更



### 支店管内の産業の特色及び 中小企業金融の取組みなどについて

当店の営業エリアは住宅街が中心のため住宅の新築・建て替え需要の高さを背景に不動産業や建設業を営む方が多く、他にも医療機関をはじめ様々な業種の事業所があります。

お客様への訪問・推進活動を重視し、お客様から信頼され何事においても頼りにされる地域金融機関を目指しています。

### 保証利用推進の方策について

全ての事業先を訪問し、お客様のニーズの把握に努めています。資金需要掘り起こしを行い、信用力が十分でない企業に対しても将来性を見据え、当庫と保証協会で協調支援する「ネクスト」の推進に力を入れています。また、様々な保証制度の中からお客様へ最適な提案ができるよう、勉強会を支店内で実施するなど保証制度への理解を深めています。

## 支店の スローガン

### 「顧客目線で提案し、地域に根差した金融機関を目指す」

全職員がお客様のもとへ訪問活動を行っており、日頃からお客様と接する機会を増やすことで、お客様が今何を求めているのかを把握する力を強化し、お客様から身近で相談しやすい金融機関を目指しています。



### これまでで一番心に残る体験

10年ほど前に渉外係を担当していたときに経験した、堀川支店の新築建て替えが心に残っています。旧店舗から仮店舗への移転は、毎日業後に全員がジャージに着替え、夏の暑い中汗だくで梱包作業を行いました。新店舗開店に向けて1年半毎日推進訪問活動を行った甲斐もあり、開店当日には絶え間なくお客様がご来店くださいました。取引をしていただくありがたさと、全員の力の結集を実感しました。

### 職員の方々へのアドバイス

お客様に興味を持って接することで、小さな「気づき」から提案を行うことができます。一人ひとりが支店の代表としてより良い接客を目指してほしいと思います。

### 保証協会へメッセージ

日頃より保証業務に加え、様々な相談に乗っていただき感謝しています。中小企業への支援は金融機関と貴協会の連携が必要不可欠です。今後とも、良きパートナーとして地域社会の発展を共に目指していきたいと思っています。

## 『3つのかん』

- ①何事にも関心を示す。
  - ②積極的に関与する。
  - ③結果が出るまで管理する。
- これらを毎日の仕事において心掛けています。

## 支店長のモットー

支店長  
岸本 健様





# 森の京都



京丹波町

森の京都特集第3回目は京丹波町です。今回取材に伺った京丹波町は京都府中央部に位置し、古くから京都と山陰を結ぶ街道の宿場町として栄え現在も交通の要所となる地域です。また、丹波高原の気候風土の中で育った黒大豆、小豆、マツタケ、クリなどは、丹波ブランドとして全国的に有名であり、豊かな食文化を育んでいます。

京丹波町商工観光課様にご協力をいただき、京丹波町の「森の京都」を体験させていただきました。

## そねっと～京丹波の「美味しい」を伝えたい～

最初に紹介するのは、京都縦貫自動車道の「道の駅 京丹波 味夢の里」で、地元の食材を加工・販売している「そねっと」です。丹波黒豆・丹波栗を使った「黒豆ちらし寿し」や季節の野菜とみそ風味のソースを詰め込んだ「揚げピザ」、黒豆ゼリーなどのスイーツを販売されています。「そねっと」は地元の女性6名で運営されており、代表の岩崎桂子様にお話を伺いました。

「そねっとを立ち上げたきっかけは、地元である曾根に味夢の里が建設される話を耳にして、何か地域の賑わいに貢

献できないかと友人に声をかけたのが始まりでした。名前も「人とのネットワークを大切にする曾根の人」という意味で名づけました。地産地消をコンセプトに地元の食材を使った商品メニューの開発に取り組んでおり、地元の美味しさを届けられるように改良を重ねています。また、その他の活動としては、縦貫道が全線開通した平成27年7月に「味夢の里」の敷地内に植えたラベンダーが昨年大きく花を咲かせたことから、6～7月にかけて来場者の方に花の摘み取りやバンドルズ作りなどを体験いただく催しを行いました。参加者が予想を上回るなど好評であったことから、今年も検討していきたいと考えています。」

「そねっと」では味夢の里だけでなく各種イベントにも出店されています。京丹波の美味しいものを味わえば、きっと素敵な一日を過ごせることでしょう。



黒豆ちらし寿し



揚げピザ

## しづし 質志鐘乳洞公園～冒険心をくすぐる神秘的な空間～

次に、京都府唯一の鍾乳洞のある質志鐘乳洞公園を訪れ、質志鐘乳洞公園協力会会長の後藤哲雄様にご案内頂きました。

「この鍾乳洞は昭和2年(1927年)に発見され、全国でも珍しい縦穴式の鍾乳洞となっています。鍾乳洞の総延長が52.2m、同口から最深部までの高低差が25.1mと上下

左右に広がっており、ほぼ垂直な階段で下りていく箇所もあります。洞内は平均12℃となっており、夏の猛暑時でも天然の涼を感じることができ、運が良ければコウモリを間近で見ることができます。女性やお子様連れの方でも手軽に探検気分を味わえます。」

公園内にはバンガローやキャンプ場も併設されており、バーベキュー、バードウォッチングにニジマス釣りなど、自然の中で様々な体験が可能となっています。家族で自然を触れ合えるアウトドアスポットですので、ぜひ利用してみてください。(1月・2月は休園期間となります)



質志鐘乳洞公園  
協力会会長  
後藤 哲雄様

## ほとす 仏主地区～田舎に泊まって農業体験～

最後に、京丹波町の最北端、仏主地区にある農家民宿・長老の里を訪問しました。長老の里は農業体験ができる民宿で、周辺には長老ヶ岳や七色の木などみどころもたくさんあります。七色の木は、7種類の木が共生している大変珍しい木です。また春には山菜まつり、夏には魚とりなど季節毎に楽しむことができます。民宿を運営されている田井勲様と、仏主地区区長の藤田勉様にお話を伺いました。



民宿を運営  
田井 勲様



仏主地区区長  
藤田 勉様

「農業体験では、ムラサキイモの収穫、コンニャクイモからの蒟蒻づくり、餅つきなどを行っています。お客様の中には都会生まれで田舎のない方も多く、農業体験を楽しんで頂いています。大学生や家族連れの方にも来て頂いており、若い人たちが来られると地区全体にも活気ができます。最近では「水車米」や「あまごの里」を復活させました。私たちの故郷を守り、後世に伝えていくつなぎ役として頑張っていきたいです。」

昔ながらの風景を取り戻そうと復活された水車で精米された米は栄養価が高く「水車米」として高評価を得ています。また、「あまごの里」では山の湧水で育てたあまごを放流し、釣りや魚掴みが楽しめるようになりました。

里山の暮らしを満喫でき、色々で見どころも多い仏主地区にぜひ足を運んでください。



## 京丹波町からのメッセージ

京丹波町には、四季折々にその姿を美しく変える「琴滝」や、京都府唯一の縦穴式鍾乳洞「質志鍾乳洞」、京都丹波高原国定公園の指定地域にもなった「長老ヶ岳」などの景勝地がたくさんあります。また、今年度はCMや映画など撮影ロケ地の誘致事業を進めており、映画ロケ地の町づくりも進めています。

3月20日(月・祝)には、京都府立丹波自然運動公園で「森の京都博」テイクオフイベントも開催される予定です。森林資源やおいしい食材に恵まれた京丹波町、皆さん是非お越しください。



京丹波町 商工観光課  
地域おこし協力隊 佐藤 元基様

## 京都再生ネットワーク会議開催



宮本恵司 様

平成28年12月2日(金)、京都府中小企業会館にて平成28年度第2回京都再生ネットワーク会議を開催しました。(通算27回目の開催)

会議の第一部では当協会から平成28年度中小企業再生支援資金の保証取組実績やモニタリング・フォローアップ実績の報告を行いました。次に京都府中小企業再生支援協議会統括責任者の中西宏介様から京都や全国本部の活動と最近の動きについて報告がありました。

第二部では、株式会社ジャパン・マーケティング・コミュニケーションズ 代表取締役社長 宮本恵司様、専務取締役 田井中秀公様を講師に招き、「新しい知恵が支える地域名門企業再生の道」というテーマでご講演いただきました。講師の方々は、大手百貨店で勤務経験を活かし、これまで多くの企業の再生支援に携わっておられます。

講演では、「全従業員のベクトルの統一」「従業員の意識改革」「水位(=売上・業績)を上げる」というポイントを基に、企業再生を進める上での重要な事項を、現場に即した事例を交えながら、たいへん分かりやすくご説明いただきました。

会議終了後、講師を囲んだ懇親会では、再生支援関係者同士の交流が図られ、京都の中小企業支援に向け、更なる連携を深めることができました。

### <中小企業再生支援資金の実績>

1. 平成27年度中小企業再生支援協議会の再生計画完了案件保証承諾実績・・・20企業  
(平成15年以来の累計310企業)  
※平成28年3月末現在
2. 京都府・京都市協調中小企業再生支援資金実績・・・13企業  
(制度創設累計790企業)  
※平成28年11月末現在



## ものづくり現場研修を行いました

当協会では若手職員を中心とした人材教育の一環として、平成23年度より「ものづくり現場研修」を実施しています。今年度は、「着手日管理方式」による短納期生産や徹底した「5S5T」活動の推進により、京都中小企業優良企業および関西IT百選にも選出された株式会社長濱製作所様を訪問しました。

昭和23年に創業した同社は、京都市南区の市街地に本社・工場を構え、アルミの金属切削加工をメインに行っています。同社は生産工程の進捗状況・納品に関する受発注情報を一括管理するシステムを導入したことにより生産工程の「見える化」を実践されています。そのため納期ではなく「着手日」で生産管理を行うことが可能となり、多品種・小ロット生産にもかかわらず着手日より3泊4日という短納期が実現されました。

また、当社は「掃除は品質の基本」と捉え、「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5S活動および「定位置・定量・定方向・表示・標識」という5T活動を徹底するとともに常に改善していくことが成長を支えてきた原動力となっているそうです。

実際に工場を見学すると、工具の定位置管理を行う専用棚や納期と負荷量を把握するための同社手作りのラックなどが配置されており、目で見る管理が行き届いた中で、社員の皆様が気持ちよく業務を行っておられました。

今回の研修を通して、ものづくりの現場を見ることの重要性とともに、当協会が中小企業の皆様に寄り添ったサービスを提供していくために常に創意工夫を積み重ねる必要性を再認識しました。これからも製造現場に出る機会を設けることで職員のスキルアップを図り、適切な金融・経営支援に努めてまいります。



## けいはんなインキュベートルーム交流会に参加しました

平成28年10月27日(木)、相楽郡精華町にある「けいはんなプラザ」にて株式会社けいはんなが主催する“インキュベートルーム交流会”が開催され、当協会からも山城支所職員が講師として参加しました。同プラザのラボ棟に入居する12企業、17名の参加者に対して、信用保証の紹介や創業等保証制度の説明を行いました。インキュベーション施設との交流は初の試みでしたが、参加企業からは「事業計画の策定の仕方を教えて欲しい。」「融資を受けたい時に誰を訪ねればよいのか。」など創業期の企業が抱える悩みや様々な意見に対し、直接アドバイスすることができました。

今後も各関係機関との連携を一層強化していきます。

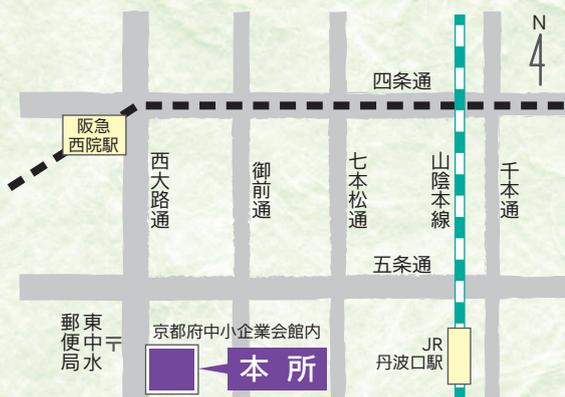


## 本所

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館内

- 業務区域／京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡
- 業務部保証推進室の担当地域  
保証推進第一課／北区、上京区、中京区、下京区、右京区、西京区  
保証推進第二課／南区、伏見区、左京区、東山区、山科区、向日市、長岡京市、大山崎町

●電話	●FAX
保証業務課：(075)314-7221	(075)314-2034
保証推進第一課：(075)314-7226	(075)321-6117
保証推進第二課：(075)314-7227	(075)314-8111
経営相談課：(075)314-7221	(075)321-6117
経営支援課：(075)314-7222	(075)321-3043
期中支援課：(075)314-7222	(075)321-3043
管理第一課：(075)314-7225	(075)322-1038
管理第二課：(075)314-7225	(075)322-1038
管理業務課：(075)314-7225	(075)322-1038
コンプライアンス室：(075)314-7223	(075)321-6331
総務課：(075)314-7223	(075)321-6331
経理課：(075)314-7223	(075)321-6331
人事課：(075)314-7965	(075)321-6331
電算統計課：(075)314-7224	(075)314-3545
総括監査室：(075)314-7223	(075)321-6331



## 山城支所

〒611-0033

宇治市大久保町上ノ山37番地の3

- 業務区域／宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電話／	●FAX／
保証関係：(0774)43-8822	保証関係：(0774)43-8899
管理関係：(0774)43-8823	管理関係：(0774)43-8824



## 中丹支所

〒620-0804

福知山市石原2丁目24番地

- 業務区域／福知山市、綾部市、舞鶴市

●電話／(0773)27-6156	●FAX／(0773)27-6158
-------------------	--------------------



## 南丹支所

〒621-0052

亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

- 業務区域／亀岡市、南丹市、船井郡

●電話／(0771)22-1041	●FAX／(0771)22-6737
-------------------	--------------------



## 丹後支所

〒629-2503

京丹後市大宮町周枳2226番地3

- 業務区域／宮津市、京丹後市、与謝郡

●電話／(0772)68-0601	●FAX／(0772)68-0613
-------------------	--------------------

あなたの企業の一員に

**京都信用保証協会**  
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO  
<http://www.kyosinpo.or.jp/>



●インキ：大豆油インキを含む植物油インキ  
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

### 第Ⅲ四半期の表紙

#### 琴滝

船井郡京丹波町須知にある落差43mを誇る府内最大級の滝。巨大な一枚岩を美しく流れ落ちる水が13弦の琴糸のように見えることから「琴滝」と名付けられ、「京都の自然200選」に選定されています。冬には遊歩道から琴滝にかけてLEDイルミネーションで彩られるイベント「冬ほたる」が開催され、多くの来場客で賑わいます。

